

本誌はネイチャーゲームの英語名である“Sharing Nature”（シェアリングネイチャー）をテーマに自然と人のつながりやつき合い方を見つめる情報誌です。



スポーツ振興くじ助成事業



P.1 日本の民話から「月うさぎ」

特集 世界の幼児教育とコラボレーション シュタイナー教育と ネイチャーゲーム

ネイチャーゲームの森 79号

ネイチャーゲームは米国のナチュラリスト ジョセフ・コーネル氏により発表された活動です。みる・さぐく・さわる・かぐなど、私たちひとり一人が持っている感覚を使って、楽しみながら自然を体験する活動です。

日本の民話から「月うさぎ」	1
シェアリングネイチャーを深めよう	5
テーマ別実践ヒント《大人数》	6
達人から学ぶ「苦手アクティビティを体験で克服!」	7

自然を丸かじり《野点を楽しもう》	8
ネイチャーゲームでひろがるつながる《ふくしまキッズ》	8
あなたの本棚見せて!	9
ネイチャーゲーム川柳	10

日本の民話から Vol.6

日本の民話には、自然の化身ともとらえられる妖精や妖怪が多く登場します。彼らと人間との関わりから自然と人のつきあい方を考えてみませんか。



写真／中秋の名月とススキ



【月うさぎ】

月でお餅をつくウサギ。そのルーツは遠くインドの仏教説話に求められるともされ、老人の餓えを癒す為に、その身を火にくべたウサギの姿と言われている。

文・高畑吉男
イラスト・井上みさお

見上げた月に浮かぶのは…
愛らしい月うさぎか、それとも？

時に満ち、時に欠け、夜こと姿を変えては消す月は、昔から私たちにとって、一番身近な天体でもありました。その表面に現れる影を、日本人はお餅をついているウサギに喩えましたが、中国ではカニ、東ヨーロッパでは女性の横顔、アラビアではライオンなどに見たててきました。
夜空で輝く月を見上げる時、どんな想像が翼を広げるのでしょうか？



Special feature - 18

世界の幼児教育とコラボレーション

シュタイナー教育と ネイチャーゲーム

取材・文／伊東久枝
取材協力／としくらえみ／山本真樹／原 礼子／早川広美
写真提供／日本協会
構成／編集部

自己を自由に表現する
シュタイナーの技法で広がる
自然体験のメッセージ

ドイツの哲学者ルドルフ・シュタイナーが提唱した『シュタイナー教育』は、「自分で感じ・考え・行動できる人を育てる教育」として、日本でも幼児教育を中心に根強い支持を受け、静かに広まってきています。近年ではシュタイナーの教育理論を取り入れた幼稚園や小学校もあり、多様な書籍も発行され、多くの人に知られるようになりました。

今号では、そのシュタイナー教育の実践者・としくらえみさんにご協力いただき、7月21日に浜松で行われたネイチャーゲームとのコラボレーションプログラムの様子をご紹介します。



としくらえみ

東京生まれ。幼稚園勤務ののち、1987年から数回にわたりドイツやスイスに渡り、シュタイナー幼稚園での実習を行うほか、水彩画や芸術療法（アートセラピー）を学ぶ。現在、京都にてぬらし絵やクラフトを教えるアトリエ・キンダー・ライムを主宰。2児の母。

自然体験で感じたことを自由に「ぬらし絵」で表現！

全体がしっとりとなるまでぬらした画用紙に、平筆で水彩絵の具を置くと、みるみるにじんでふわふわと色が広がっていきます。そこにまた別の色を置くと、絵の具と絵の具が混ざりあって新たな色が生まれてくる。そんな様子に子どもたちは夢中になり、次つぎに思い思いの色を画用紙にのせていきます。直線、曲線、そして小ささまざまな水玉模様…。用いる色は、赤・黄・青の三原色のみです。しかし画用紙の上には、それらの色が出会って無限の色が広がっていきます。

「体験や思いを絵に描いて表現しよう」と思っても、輪郭で描く線画では、小さな子どもには難しくなかなか思うように描けないこともあります。でも『ぬらし絵』ならば、イメージすればどんな絵が生まれてきてくれる。もちろんイメージしたものと違う色が出てしまうこともあります。でもそこからまた新たなイメージが生まれる。ですから小さな子どもでも絵が苦手な子どもでも、誰もが楽しめ、自分を表現できるんです」

そう話すのは、今回シユタイナーの代表的なアクティビティ『ぬらし絵』の指導をしてくださったとしくらえみさん。

参加者は、3歳から小学5年生まで16名。それらの子どもたちが、ひとりで、またグループで、年齢に関係なく夢中で画用紙に向かっていました。参加者のなかには「普段落ち着きのある子ではないのに、集中して真剣に絵を描いていたのにびっくり」とお母さんを驚かせた子もいました。

そしてできあがった絵を見ると、ぬらし絵を行う前



(左) ネイチャーゲームでは、自由に動き、身体を使い、感覚を動かしてのびのび遊びました。
(右) 子どもたちが集中して描く姿が印象的だった「ぬらし絵」。

に見た自然の風景をイメージさせる絵がたくさん！

この日のプログラムは、最初に屋外でネイチャーゲームのアクティビティ（フィールドビンゴ）（*1）と（カメラゲーム）（*2）を行い、その後室内に移動して、としくらえみさんの指導で『ぬらし絵』を行うというもの。そのため子どもたちの頭のなかには、会場となった佐鳴湖（静岡県浜松市）の自然が鮮明に焼きついていたのでしよう。湖を思わせるブルー、湖畔の緑、咲いていた花々の表情がイキイキと表れていました。まだ言葉では体験をしっかりと伝えられない小さな子どもたちが、このように自然を見ていたのか…と、まるで子どもたちの心が画用紙の上

「ネイチャーゲームとのコラボレーションは初めてですが、やはり自然をイキイキと感じてきているので、色がおもしろいですね。ネイチャーゲームもシユタイナーの『ぬらし絵』も、遊びなんだけど、結果として豊かな体験が子どもの中に入ってくる。そして最終的に技術や知識につながるように考えられている。多くの共通点があると思いました。今後もっといろいろなことができるような気がします」（としくら談）

青と黄色を混ぜたら緑になるということを知っている子はたくさんいます。でも色の混ざり方によって同じ緑でもさまざまな色があることを、知識だけでなく体験として知っていること、「感覚で知ることが大切」なのだ話すとしくらえみさん。だからシユタイナーのプログラムはできあがりではなく、過程が大切だといいます。ネイチャーゲームの理念と、どこか重なるものを感じます。

シユタイナー教育の理念はネイチャーゲームに近い？

この日のプログラムには、ネイチャーゲームのリーダーやインストラクターが数名視察に来ていました。プログラムを見学したリーダーの1人、長野の幼稚園教諭、原礼子さんは「自然のなかで心が柔らかくなったあとで心のままに創造し、できたものを『素敵だね』といってもらえるのがいいですね。自己肯定感を育てるプログラムとして効果があると思います」といいます。また、インストラクターの早川広美さんは「言葉ではないシユアリングの方法として、とてもおもしろいと思いました。今後ぜひプログラムに取り入れて、子どもだけではなく大人にもやってみたいですね。きつとストレス解消にもなる

*1 フィールドビンゴ：カードに書かれた「いい匂い」「星のかたち」などを、五感を使って自然のなかから探し出すアクティビティ。
*2 カメラゲーム：体験者自身がカメラになり、目をつむったまま案内された場所で、カメラのファインダーを開くように一瞬目を開き、自然の風景を頭に焼き付けるアクティビティ。

シェアリングネイチャーを深めよう

—— ジョセフ・コーネルからの

メッセージ

vol.9

シェアリング ネイチャーの 5つの特徴

翻訳：藤牧智子



「シェアリングネイチャー
自然のよさをわかちあおう」発売中!

Joseph Cornell's Message from Ananda



Joseph Cornell ジョセフ・コーネル

1950年米国カリフォルニア州生まれ。野外教育インストラクターを経て、1979年「Sharing Nature with Children」を発表。現在、世界的なナチュラリストとして活躍。米国カリフォルニア州アナンド村で瞑想やヨガ、菜食主義を取り入れた自然と調和する日常生活を送っている。シェアリングネイチャーワールドワイド会長。(社)日本ネイチャーゲーム協会名誉会長。

日本ネイチャーゲーム協会の団体名が「日本シェアリングネイチャー協会」に変わることに先駆けて（9月現在、公益認定委員会審査中。9ページに関連記事あり）、私は日本の事務局より「シェアリングネイチャーの言葉の意味について説明してほしい」と頼まれました。私はこう答えました。

「教える」のに対して「シェア（共有）する」とき、焦点は、人それぞれ自分自身の自然体験からぶれることはありません。「教える」とは、通常、自然について語ることを意味しますが、人間の言葉や定義は、自然の全体性のほんの一部しか伝えることが出来ません。

シェアリングネイチャー（ネイチャーゲーム）の指導者は、例えば、鳥や山を観察したり、それらについて語ったりする代わりに、アクティビティを通して鳥や山の直接的で思い出深い体験を与えることが出来るのです。

すべての指導者の目標は、人々を自然と向き合わせることにあります。指導者は謙虚に、自然に関する知識を創造的に、かつ、思いやりと愛情をこめて使い、人それぞれが自然を体験し発見するサポートときっかけづくりをするべきなのです。シェアリングの姿勢こそが、私たちが自然と、そして、人とを一つにしてくれるのです。

この記事を書くにあたり、私は自宅の庭に座り、シェアリングネイチャーのユニークな点や特徴についてあらためて考えてみました。以下は私たちのプログラムを特徴づける5つの点です。

- 1 心、精神、魂に触れる自然体験を提供する。
- 2 思いやり、喜び、前向きな気持ち、無私の心といった資質を育む。
- 3 体験的アクティビティを通して、学びを楽しく、意味深く、想像をかきたてるものにする。
- 4 フロアーニングを通して、人々の意識を惹きつけ、高めていく。
- 5 自然の中の深く夢中になるような体験を通して、地球に対する愛と思いやりを育む。

何年も昔に『ネイチャーゲーム1』を書いたとき、私は自然を助けたいと思いましたが、それ以上に、人間がより良い人間になる手助けをしたかと思っていました。『セブン・アローズ（7本の矢）』というネイティブ・アメリカンの霊的信仰について書かれた本は、人類を「決定者」と呼んでいます。なぜなら、環境に対して最も大きな影響力を持っているのは、私たちがからです。世界は今、数多くの困難な問題に直面しています。これらの問題を解決するためには、そもそもこうした問題を作り上げる原因となった、命を軽視した人間の身勝手な姿勢を変えていく必要があります。

米国の自然保護活動家レイチェル・カーソンは、「人類は、かつてないほどに、自分たちを支配する能力——自然を、ではなく——を示す必要に迫られている」と言っています。シェアリングネイチャーのアクティビティや教え方は、子どもたちや大人たちの最も善なる気高い部分を引き出すように考案されたもの

です。人々が自然をより繊細に感じられるように、あらゆる命に対して愛に満ちた敬意を持てるように手助けすることこそが、人々に終生の環境倫理を育むためのカギなのです。

2011年9月に、私はドイツの森林官たちを対象にワークショップを開催しました。ワークショップで、森林官たちは「自然へのインタビュール」（木の「一年」）などを楽しみました。その後、記事の取材でこの森林官の一人はこう語ったそうです。

——大学では、森林を商業的な視点から見るよう訓練を受けました。でもシェアリングネイチャーのアクティビティを体験しているうちに、私は草や木々が私の友たちであること、森の中のあらゆるものが私の友たちであることに気づいたのです！これは私にとってまったく新しい自然の見方であり、私のこれからの森林での仕事に影響を与えるでしょう。

シェアリングネイチャー体験は、プログラムに参加するすべての人々の心、精神、魂に触れます。田中正造は、「河川の保護は、河川の問題ではなく、人間の心の問題である」と語っています。自然を助けるためには、人々がもっと思いやりのある人間になれるよう手助けをしなければなりません。人々の、命への、そして、お互いへの愛情を呼び覚ますことにより、私たちは、世界に有益な変化をもたらすもつとも高尚で効果的な方法を実践しているのです。

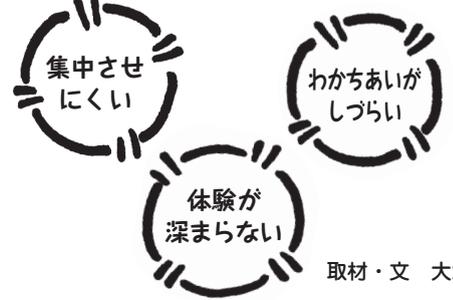
この記事は、次回以降の情報誌に続きます。

Naturesame テーマ別 実践ヒント

今回の
お題は、
大人数



お悩みポイント



取材・文 大地佳子

学校行事やイベントなどで、少人数の指導者が大人数の参加者を対象とする場合には、どんな点に注意したらよいでしょうか？

おすすめアクティビティ

- 〈ノーズ〉 〈音いくつ〉 〈色いくつ〉 〈ノアの箱船〉 〈動物発見ラリー〉 〈フィールドビンゴ〉 〈フィールドパターン〉 〈森の色合わせ〉 〈宝さがし〉 〈木の鼓動〉 〈木をつくろう〉 など

参加者全員に伝わるように、伝え方を工夫しよう！

これで解決！

- ・導入で、見たり触ったりできるものを使い集中させる。
- ・全員が聴きやすい場所を選ぶ。
- ・気づきを促すような声かけをして、体験を深める。
- ・参加者にも積極的に協力してもらう。
- ・参加者同士でわかちあいをし、全体でのふりかえりにつなげる。

こんな工夫をしています！

とよたさきお
豊田佐々雄さん

(香川県・香川県ネイチャーゲーム協会設立準備会 代表)
導入で興味を引きつけるため、説明だけでなく、絵や人形を使うなど工夫しています。また、参加者や先生の中から、頼れる人に協力してもらうのもよいでしょう。中学生150人で〈木をつくろう〉を行った際は、根が水を吸う時の「チュー」という第一声が重要なので、活発な子にあらかじめ何人か根になってもらいました。



ふじい
藤井かすみさん

(兵庫県・美方高原自然の家)

集中してもらうために、指導者の立ち位置や言葉づかいなどに配慮しています。導入の時は、拡大写真を使ったり、大きなジェスチャーやリアクションで話します。わかちあいでは、参加者の顔をぐるりと見渡して、後ろの人にむかって話をします。何より、指導者が自ら楽しんで、その気持ちを伝えていくことが大切です。



かさくらひでたか
笠倉秀貴さん

(神奈川県・愛川ふれあいの村)

導入、動機づけが重要になるので、対象者や時間によって内容を考えます。また、体験をより深めてもらうために、アクティビティの途中、気づいてほしいことについて声をかけることがあります。わかちあいでも、何人かに発言してもらった後、全体にシェアして、気づきを促すような言葉かけを行っています。



※指導員ハンドブックアクティビティ編P.22参照

おすすめのネイチャーゲーム **〈ノアの箱舟〉**

実践の
ポイント

- ・ノアの箱舟の話は、簡単にストーリーを話す程度にする。
- ・しぐさの練習は、リーダーが大きさやってみせるとよい。



動物の絵や名前がかかれたカード（1種類につき2枚ずつ用意）を参加者に配る。
ノアの箱舟の伝説を話し、

全体で動きやしぐさ、鳴き声の練習をしてスタート。参加者はカードに書かれた動物のジェスチャーをして、自分と同じ動物を探す。

相手を見つけたしペアになったら、ロープなどで作った箱舟に乗りこむ。

達人

から学ぶ

【その十八】

ネイチャーゲームトレーナー
伊東 工さんの巻



いとう たくみ
戸隠高原でネイチャーゲームと出会い、戸隠を舞台にした自然学校で子どもたちや大人たちとたくさんの冒険をしているうちにトレーナーになっていました。今はちょっと自然体験が足りていません。人生にはそういう忙しい時期もあるものです。

募集中

このコーナーでは、全国の「達人」情報やリクエストを募集しています。ある分野でのネイチャーゲームの達人、熟練指導員の達人技、あの人の技を聞いてみたい...どしどし応募ください。
mizushina@naturegame.or.jp

苦手アクティビティを
体験で克服！



ネイチャーゲームを指導する時、なんとなく苦手なアクティビティがある...どうすれば苦手を克服できるの？そんな時には、自然と改めて向き合い、自然の声を聞いてみよう！伊東さんからのメッセージです！

みなさんは、苦手なアクティビティはありますか？ 苦手の原因はいろいろありますが、1つに「そのアクティビティ」が自分の胸に落ちていない、アクティビティの良さが理解できていないということがあはります。それを克服するためには、やはり何度もトライする必要がありますが、同時にそのアクティビティに通じる自然体験をすることがとても大切です。私の体験からヒントをつかんでください。

●木の鼓動が苦手だった

私は「木の鼓動」が苦手でした。「聞こえる音の正体がわからない」というなんともまとめが難しいアクティビティです。「聞こえた、聞こえた」という子どもたち「確かに聞こえたよね。でも何の音かは、実はよくわからないんだ。」というのがある時、私が聴診器で耳を澄ましてみると「ドン、ドン」という音が聞こえてきました。それが段々大きくなっていくのです。いったいこの木はどうなってしまうの？と思った時「たくさん！(私のフィールドネーム)」と声をかけられました。その音は近づいてきたスタッフの足音だったのです。その時はとてもがっかりしました。

●アクティビティに通じる自然体験

私は一時期、仕事帰りにカヤの平というブナの森にかよっていたことがあります。夕暮れの誰もいないブナの森を歩くのとても気持ちの良いものです(クマに追いかけてられたこともありますが)。そんなとき、ふとあの足音が段々大きくなって聞こえて

きた時のことを思い出しました。「そうか！木には人が歩いている足音が伝わっているんだ！」そう思った瞬間、私は自然に帽子を脱いで周りの木々に深々とお辞儀をし、「おじゃましています。」とあいさつをしてみました。この体験が一気に「木の鼓動」を大好きなアクティビティに変えてくれました。

●自然の声に耳を傾けよう

木々は音を通して、周りのことや私たちが近くにやってきたことを感じとっているのではないのでしょうか。そして、森の周りや木の中で起こっていることを、音を通して私たちに伝えてくれているように感じるので、私たちがそのメッセージをまだ理解できていないだけで、耳を傾けることで伝わってくる気がします。木が伝えてくれるメッセージに耳を澄ましている時間がどれほど大切な時間なのか、何かが聞こえたときの子どもの目の輝きを見る度に実感します。それこそが木のメッセージなのかもしれません。私は、自分がブナの森で体験したことを子どもたちに話して聴かせます。「木はね、君たちが近くにいます。ちゃんとわかっているんだよ。」と話す

と、子どもたちはとてもうれしそうです。苦手なアクティビティを克服したいと思いうとき、ちょっとそのアクティビティ自体から離れて、自然の中へ出かけてみてはどうでしょう。自然が克服のヒントを与えてくれるかもしれません。

被災地復興支援情報

つながろうニッポン!



ホームページもチェック!



毎月、第3日曜日に開催中!
全国銘菓お茶っこ広場専用ページへお菓子の発送方法や現地の様子を紹介しています。

Join-jinga-sk.c@nt@ml.freeml.com (登録メールを送ってください)

全国銘菓お茶っこ広場開催中!

2011年9月から始まったお茶っこ広場の活動も、おかげさまで開催20回を越え、地元の方々にも毎回楽しみにいただいています。お菓子と現地ボランティアの募集も引き続き行っています。皆さまのご参加をお待ちしています!

※現地ボランティアは、基本は現地集合、現地解散、交通費等の経費は自己負担となります。まずはメールマガジンを登録ください。



全国ネイチャーゲーム研究大会INいわて2012

2012.6/11-13
箱崎明美(岩手県)

今年度の全国研究大会は、十和田八幡平国立公園内にある岩手山綱張温泉休暇村を会場に全国から150名余りの参加者を迎え、開催されました。岩手の自然と宮沢賢治の世界を楽しんでいただくとうと登山や川下り等、7つのワークショップを企画しました。その中に、被災地の釜石に出かけて復興支援を行うプログラムもありました。また、研究会では、「お茶っこ広場」の活動や、被災地へのメッセージを語り合いました。運営では、宮城県や秋田県・山形県の協力をいただきました。美しい新緑の森の中で自然に浸り、東日本大震災の痛みを共にわかしあひ、明日に歩み出す力をもらった研究大会となりました。



釜石の子どもたちとネイチャーゲームを楽しんだ参加者。

自然を丸かじり

くわんくわん 食べんぞ 楽しんで

野点とは、屋外で抹茶を点ててお茶会を楽しむこと。本来、茶道で行われるお茶会（茶事）には、決まった作法や手順があり、長い期間をかけてお稽古をしますが、野点の場合は、おもてなしの気持ちさえあれば、誰でも楽しむことができます。そうお話しくださった上部さんも、茶道のお稽古に励む傍ら、イベントなどに野点を取り入れて楽しんでいらっしゃいます。

元々茶道には、季節に応じて道具を変えたり、花を飾るなど、室内でも季節を感じながらお客さんに心地よくお茶を味わってもらおうという考え方があります。自然と一体になり、静かな心でお茶を飲み、その気持ちをおかちあう。こうした時間は、日常の中にも取り入れられそうです。自然を感じ季節を味わう野点を、一緒に楽しんでみませんか？

その6

取材・文 大地佳子

野点を楽しもう

● 気軽な楽しみ方



① 相手をもてなしたい、心地のよい場所に案内する。



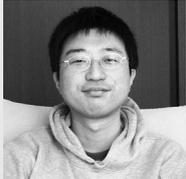
② 抹茶を茶碗に入れ、お湯をそそぎ茶せんでお茶を点てる。



道具：茶碗、抹茶、茶せん、お湯があればOK。茶杓は抹茶を茶碗に入れるための匙（さじ）で、伝統的な茶道具です。ぜひ取り入れてみてください！



お茶菓子などの後にお茶をすすめ、じっくり味わってもらおう。



大船渡農林振興センター主査林業普及指導員・ネイチャーゲームインストラクター（岩手県）
うわべ あきひろ
上部 明広さん

ワンポイント

抹茶とお湯の量は、おいしいと感じる量で作ってみましょう。

子どもたちの笑顔に あなたの支援を！

活動にご賛同いただける皆様からの支援金寄付を受け付けています。詳しくは下記HPをご覧ください！
<http://fukushima-kids.org/>



外で思いきり遊んだり、自然と関わることで、笑顔や元気を取り戻して欲しい！

福島県白川郡 進士 徹（しんし・とある）さん
ふくしまキッズ実行委員会 委員長
NPO法人あぶくまエヌエスネット理事長
ネイチャーゲームインストラクター、CONEトレーナー、
グリーンツーリズムインストラクター。

ネイチャーゲームでひろがるつながる



「ふくしまキッズ」は、福島第一原発事故の影響から子どもたちを守るため設立された任意団体。放射線の心配から外活動が制限され、子どもら

況の中で、見えないストレスを抱える子どもたちを放射線量の少ない地域へと連れ出し、子どもたちが安心して思いきり遊べる場づくりを各地の協力者・受入団体と共に行っている。

元々、自然学校をしていた実行委員長の進士さんも、震災前は活動に必ず取り入れたネイチャーゲームを、原発事故後は思うようにできなくなった。それでも「自然と関わったり、思いきり遊ぶことで、笑顔や元気を取り戻してもらえたら」と少しずつ活動を再開している。

元気に遊ぶ福島の子どもの「あなたりまえの笑顔」が、彼らの日常に戻るまで、ふくしまキッズの活動は続く。

福島の子どもの笑顔と元気を応援するふくしまキッズ実行委員会

あなたの 本棚見せて!



たどころまさこ
田所雅子さん (静岡県)

子どもと4000冊の本、物語、天城の森、川、遊び場をつないできた語り手 & NPO法人伊豆子どもミュージアム理事長 / ネイチャーゲームインストラクター



田所さんの この1冊!

「オールド・ブルー —世界に1羽の母鳥—」 さ・え・ら書房

何千年の間、様々な種類の鳥がのどかに暮らしていたというニュージーランドの東にあるチャタム諸島。そこだけに生息するブラック・ロビンが絶滅の危機にさらされた時、この鳥を救うため力を尽くした人々と、その期待に応えるように奇跡を起こす一羽のたくいまれなる母鳥、オールド・ロビンの一生が記録された絵本です。美しく愛らしいブラック・ロビンの姿がとても印象に残る感動作です。高学年の子たちに自然への思いをこめて読んできました。

お勧め本ベスト5

- ① 「オールド・ブルー —世界に1羽の母鳥—」 さ・え・ら書房 (作:メアリ・テイラー 訳:百々佐利子)
- ② 「おじいちゃんと森へ」 平凡社 (原作:ダグラス・ウッド 絵:P.J.リンチ 訳:加藤則芳)
- ③ 「死」 宮崎学写真集 平凡社 (著:宮崎学)
- ④ 「森のシナリオ—写真物語・森の生態系」 八坂書房 (著:西口親雄)
- ⑤ 「ガンバとカワウソの冒険」 岩波少年文庫 (著:斎藤惇夫)

2011年度ネイチャーゲーム 奨励賞発表

【指導者養成部門】

優秀賞 野本ふくみ
努力賞 兼松憲一、小崎昭一、菌田麻衣子、矢野正

【普及部門】

最優秀賞 みふねもりもりネイチャーゲームの会
優秀賞 愛知県ネイチャーゲーム協会

受賞理由についてはホームページをご覧ください
<http://www.naturegame.or.jp/square/news/001744.html>

日本協会理事会・総会のご報告

本年5月に平成24年度第1回理事会、6月に通常総会が開催され、以下の議案が承認されました。

- ・平成23年度事業報告
- ・平成23年度決算

正味財産増減計算書 (単位:円)

科目	23年度
一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	5,588
受取入金	385,000
受取会費計	37,833,000
公益目的事業収益合計	67,161,189
受取補助金等計	12,244,987
雑収益計	4,797,283
経常収益計	122,427,047
(2) 経常費用	
公益目的事業費計	111,975,732
管理費計	9,458,185
経常費用計	121,433,917
当期経常増減額	993,130



2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益計	0
(2) 経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	993,130
一般正味財産期首残高	51,113,169
一般正味財産期末残高	52,106,299
正味財産期末残高	52,106,299

- ・新定款の目的
- ・役員規程の改訂
- ・費用弁償規程の改訂
- ・財産管理運用規程の制定
- ・プライバシーポリシー改訂

県ネイチャーゲーム協会設立

- ・秋田県ネイチャーゲーム協会
- ・沖縄県ネイチャーゲーム協会 (これにより合計42協会)

地域ネイチャーゲームの会 設立

ゆうばりネイチャーゲームの会 (北海道)、雄勝ネイチャーゲームの会 (秋田県)、たてしなネイチャーゲームの会 (長野県)

解散

しらかわ (福島県)、シティみなの会 (東京都)、北アルプス (長野県)、佐久 (長野県)、新潟中越 (新潟県)、木曾三川 (愛知県)、大阪・狭山池 (大阪府)、南松山 (愛媛県)、北山 (佐賀県) (これにより合計194会)

団体名変更と新ロゴマーク 公募について

当協会は、2013年4月から「公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会」に名称を変更する予定です。団体名変更に伴い、新ロゴマークを公募いたします。どうぞご参加ください。

東北応援団Facebookページ

「東北応援団 シェアリングネイチャーから伝えたい」Facebookページができました。ぜひご覧ください!
<http://www.facebook.com/snouen>



10月21日は、第6回 全国一斉ネイチャーゲームの日

毎年10月の第3日曜日は「全国一斉ネイチャーゲームの日」! 地域の会、家族や仲間、またはひとりで気軽にネイチャーゲームを楽しんでみてください。全国の仲間が自然の感動をわかちあう1日。ぜひご参加ください!
実施日: 2012年10月21日(日)



専門委員会開催報告

●指導者養成委員会報告

5月24日(木)

- ・研究大会岩手県と東京都会場について
- ・奨励賞審査、講座講師養成講座審査
- ・CONE指導者制度の現況報告
- ・ハンドブック第7版改定作業の現況報告

ネイチャーゲームを 体験しよう!

- ❖体験イベントは全国各地で参加できます
- ❖公認講師を呼んで体験会や研修会が開催できます
- ❖リーダー養成講座ではより深い体験ができます

モバイルサイト ▶



ネイチャーゲームに関する情報はwebで
<http://www.naturegame.or.jp/>

読者プレゼント



岩手の風を感じよう!

1 盛岡ふきん

3名様

2012年の全国ネイチャーゲーム研究大会は、岩手で開催されました。終始アットホームな大会の思い出がよみがえります。南部鉄器、わんこそば、まゆ十二支柄がかわいい盛岡ふきんで、岩手の風をおすすめわけ!

(提供:編集部)

2 掛川深蒸し茶

3名様

静岡県掛川市でお茶農家を営むインストラクターの森下さんから、NHKの人気番組『ためしてガッテン』で話題になったあの掛川産深蒸し茶をプレゼント!健康効果が高い深蒸し茶で元気に!!

(提供:森下睦巳さん)



話題の深蒸し茶!



どんぐりちゃんの成長物語!

3 絵本『どんぐりちゃん』

1,680円(定価) 1名様

地面に落ちた自分をやさしく守ってくれたナラガシワの落ち葉たちが日に日に朽ちていく悲しみを抱えながら、どんぐりちゃんは芽を出し自らがナラガシワへと成長していく。命のつながりに気づく、成長の物語。

(提供:星の環会)

【編集後記】

*特集の取材でシュタイナーのぬらし絵を体験。講師のゆーっくりとした語りと小さなハーブの音色に癒されました。この雰囲気は私のネイチャーゲームに欠けているなあ。(ちゃ)
*全国研究大会でギターを弾きましたが、みんなと一緒に歌う一体感がすごく心に響きました。自然体験と音楽は、相互に高め合える要素だと思う!(しな)

表紙の写真: ヨーロッパヒグマ (European Brown Bear) の親子

Sharing Nature News Letter

ネイチャーゲームの森 第79号

発行日 2012年9月15日

発行人 西澤信雄

発行所 社団法人日本ネイチャーゲーム協会

〒160-0004

東京都新宿区四谷4-13-17 ワークスナカノ2F

TEL 03-5363-6010 FAX 03-5363-6013

http://www.naturegame.or.jp/

jimukyoku@naturegame.or.jp

編集 佐々木香織・水信亜衣

デザイン 橋本陽子(ビー・ビー・エフ)

田崎恭子(リクバ)

第一資料印刷(株)

イラスト 安藤美紀子(P.4・6・8)

DTP 第一資料印刷(株)

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。



この情報誌はスポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています。

読者アンケート

本誌がさらに魅力的な情報誌になるように、読者の皆さまの声をお聞かせ下さい! アンケートに答えていただいた方の中から抽選でステキなプレゼントをさし上げます。プレゼント当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

読者プレゼント締め切り日 ▶▶▶ 10月15日

●あなたのお名前

●会員ID。(または、ご住所/電話番号)

●あなたはネイチャーゲームの会員になって何年たちますか?

1年未満 1~3年 ~5年 ~10年 10年以上 (年)

●本誌『ネイチャーゲームの森』についてご評価ください。また、その理由を聞かせてください。

A. 大変参考になる B. 参考になる C. 普通 D. 参考にならない
理由 ()

●今号の中で良かったコーナーに○、普通だったコーナーに□、いまひとつだったコーナーに△をつけてください。

日本の民話から「月うさぎ」……………() イベントレポート……………()
特集『シュタイナー教育とネイチャーゲーム』……………() 自然を丸かじり《野点を楽しもう》……………()
シェアリングネイチャーを深めよう……………() ネイチャーゲームでひろがるつながる《ふくしまキッズ》……………()
テーマ別実践ヒント〈大人数〉……………() あなたの本棚見せて!……………()
達人から学ぶ「苦手アクティビティを体験で克服!」……………() ネイチャーゲーム川柳……………()

●ネイチャーゲーム川柳の投稿、本誌へのご意見、ご要望等 自由にご記入ください。

●プレゼント希望(ご希望に添えない場合もあります。ご了承ください)

① ② ③ どれもOK プレゼント不要



FAX 返信 03-5363-6013

メール返信 mizushina@naturegame.or.jp

プレゼントの締め切り日を過ぎて、アンケートの返信は受け付けています。

webで回答!!



ネイチャーゲーム川柳

ネイチャーゲームの面白い体験、失敗談、ちょっとした話を川柳でお楽しみください。

その他9句
色合わせ 届かぬところに うでのばし (ひでぼん/奈良県)
ブレイクが 氷解けずに フリーズし (詩の甘くいおしさん/埼玉県)
力持ち いつも植物 土台役 (縁の下の力持ち/埼玉県)
抜けるよ アイコンタクトに 助けられ (ラック/埼玉県)
下見行き フィールドよりも 現地食 (くいしんぼん/埼玉県)
凜とした 自然の厳しさを 解くこもれび (陽子/岐阜県)
幼子と 裸足で歩く 散歩道 (小次郎/東京都)
本名も 仕事も知らず 10年目 (しよこたん/埼玉県)
葉に埋もれ 寝息をたてる 父と子と (うにうに/奈良県)

— 特 選 —
初リーダー
てるてる坊主に
願い込め
梅雨 出微男・埼玉県

ネイチャーゲーム川柳 募集中!

あーあるある! と共感できる楽しい川柳をお待ちしています。特選の方にはプレゼントをお送りします! 投稿先→mizushina@naturegame.or.jp

New!!

ネイチャーゲームや自然体験活動を、 知る、学ぶ、深める 新刊本!

最新アクティビティ 6つを掲載!

〈なぜだろうなぜかしら〉
〈ジョン・ミューアの自然観察〉
〈自然とわたし〉〈わたしは見える〉
〈わたしは山〉〈ピースウォーク〉



コーネルさんの
最新メッセージ等、
最新情報追加!



9月末まで
¥1,680
(税込み会員特別価格)
にて販売!!

ネイチャーゲームを知る・学ぶならこの1冊!

シェアリングネイチャー 自然のよろこびをわかちあおう

- 定価 **¥2,100** (本体¥2,000+税)
- ジョセフ・コーネル著
- 吉田正人・辻 淑子訳
- 日本ネイチャーゲーム協会発行
- 四六版 / 400 ページ / ISBN978-4-906937-00-4

掲載
アクティビティ
全73

voice
読者の声

魅力ある文章で、
著者自身の自然体験や
子どもとの関わりなど
が綴られているので
参考になります。

voice
読者の声

フローラーニングに
ついて詳しく解説されて
いる章がとても良かった。
このフローラーニングが
プログラム成功の鍵
なんですね。

voice
読者の声

ネイチャーゲームは
単なるゲームではなく、
自然と人をつなげる活動
なんだと再認識できる。
何度読んでも新しい
気づきがあります。

保育や教育の現場でつかえる

保育者や小学校の教員、ゲストティーチャーにオススメの1冊!

子どもと自然とネイチャーゲーム 保育と授業に活かす自然体験

- 定価 **¥2,000** (本体¥1,905+税)
- 日置光久・村山哲哉・
神長美津子・津金美智子 編著
- 日本ネイチャーゲーム協会 監修・発行
- B5版 / 120 ページ /
ISBN978-4-906937-01-1

voice
読者の声

幼稚園の子どもたちに
どうやって自然体験を
させればいいのか?
なかなかうまくいきませ
んでしたが、この本に
その答えがありました!

voice
読者の声

小学校の授業でこんな
にもネイチャーゲームを
活用しているなんて!
指導案に組み込んだ事例
が大変役に立ちました。



※本誌事例より

改訂版



ただいま送料一律(何冊でも)300円!!

お申込み・お問合せはこちらまで

社団法人日本ネイチャーゲーム協会

TEL 03-5363-6010 FAX 03-5363-6013 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-13-17
jimukyoku@naturegame.or.jp ワークスナカノ 2F
URL <http://www.naturegame.or.jp/>

